

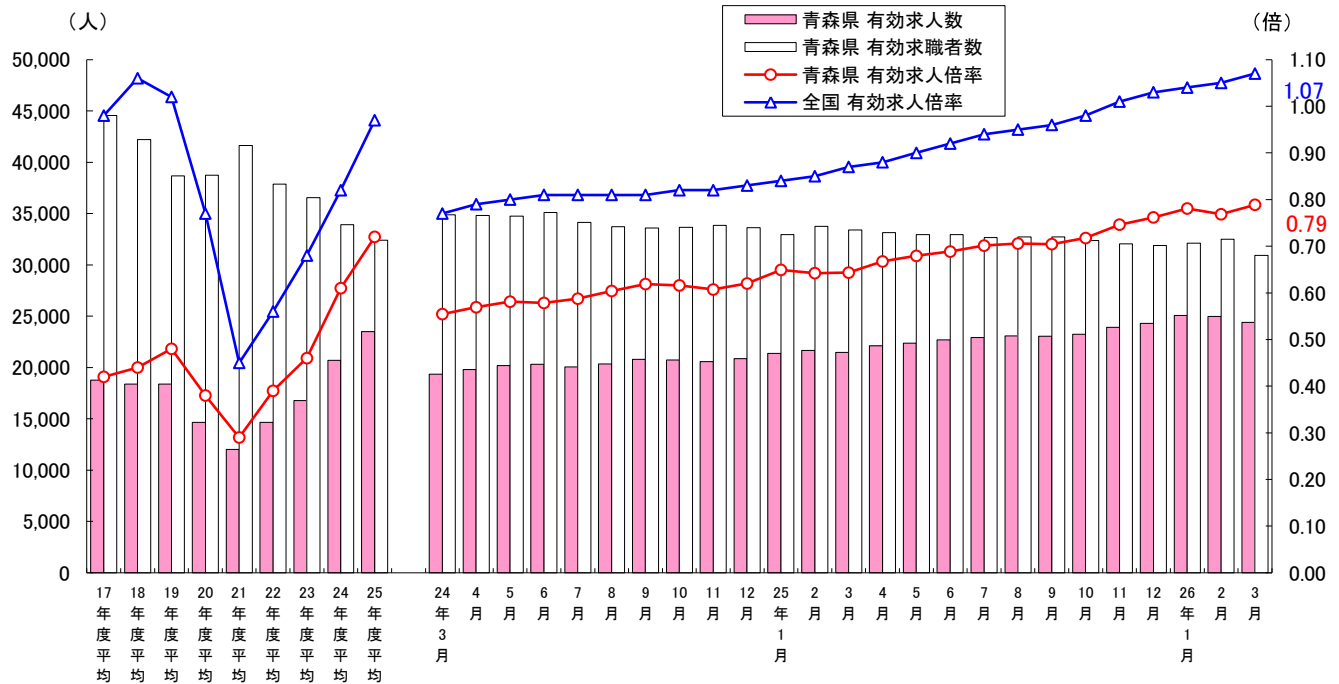
最近の雇用情勢について

(平成26年3月)

青森労働局

I 求人・求職・求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

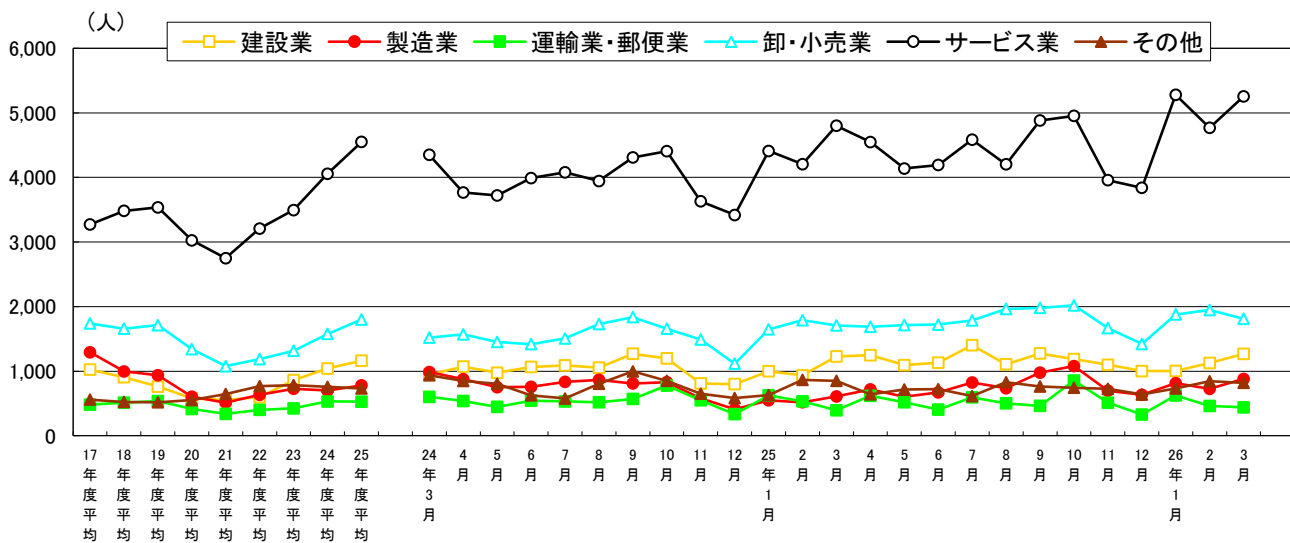
3月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ2.3%減少の24,399人、有効求職者数(同)は4.8%減少の30,932人で、有効求人倍率(同)は前月を0.02ポイント上回る0.79倍となった。



II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

3月の新規求人(原数値)は前年同月比9.2%(883人)増加、前月比6.1%(599人)増加の10,472人。

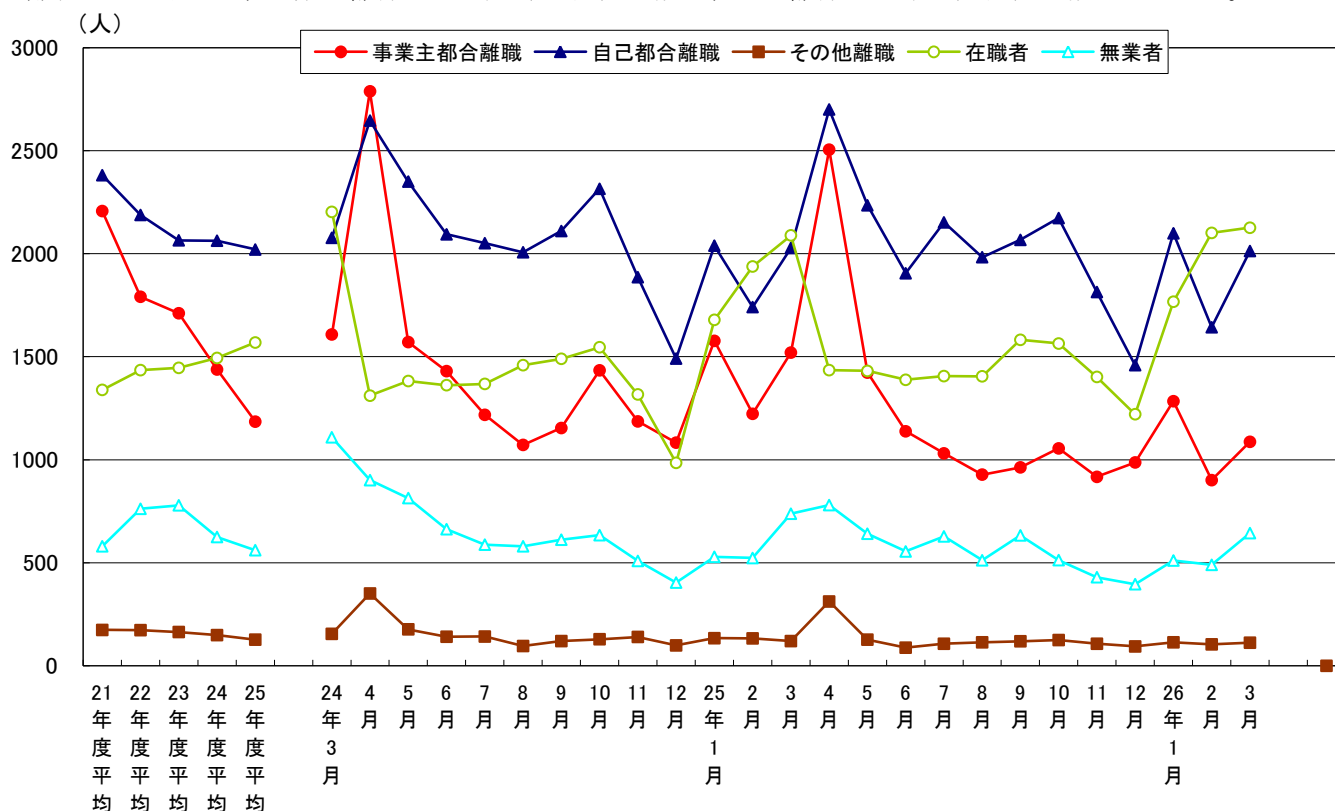
産業別に前年同月と比較すると、建設業、製造業、運輸業、郵便業、卸売業、小売業、宿泊業、飲食サービス業、医療、福祉、サービス業等で増加し、情報通信業、教育、学習支援業、公務・その他では減少となった。製造業では、食料品、飲料・たばこ・飼料製造業、業務用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業、輸送用機械器具製造業等で増加し、繊維工業、木材・木製品製造業、家具・装備品製造業、鉄鋼業、非鉄金属製造業、金属製品製造業等では減少となった。



平成21年4月内容分より、平成19年11月改定の「新産業分類」での集計となっています。
 『サービス業』には、「学術研究、専門・技術サービス業」「宿泊業、飲食サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援事業」「医療、福祉」「複合サービス事業」「サービス業」を含む。
 『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「公務、その他」を含む。

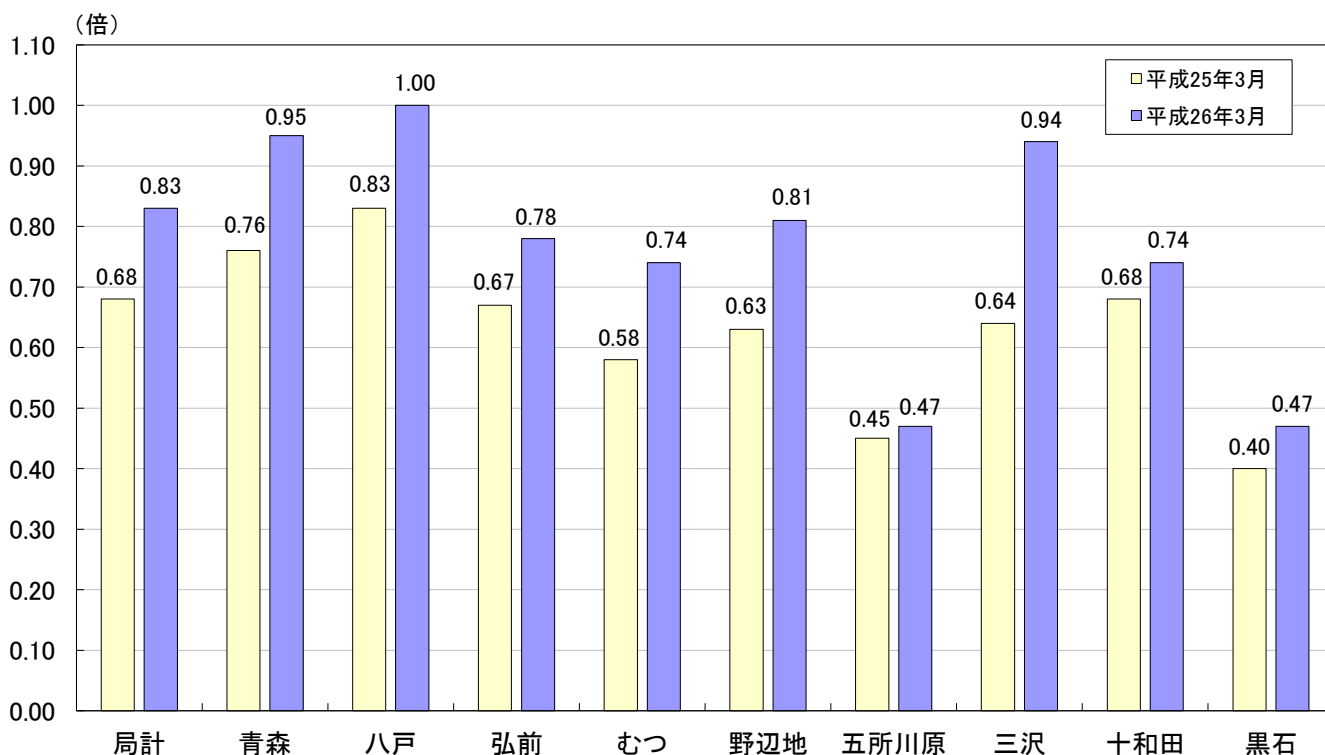
Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

3月の新規求職者数は、前年同月比7.9% (513人)減少、前月比14.2% (743人)増加の5,982人。
 求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は1.8% (37人)増加し、離職者は12.4% (456人)の減少、無業者も12.7% (94人)の減少となった。
 離職理由でみると、事業主都合は28.5% (433人)の減少、自己都合も0.7% (15人)の減少となった。



Ⅳ 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

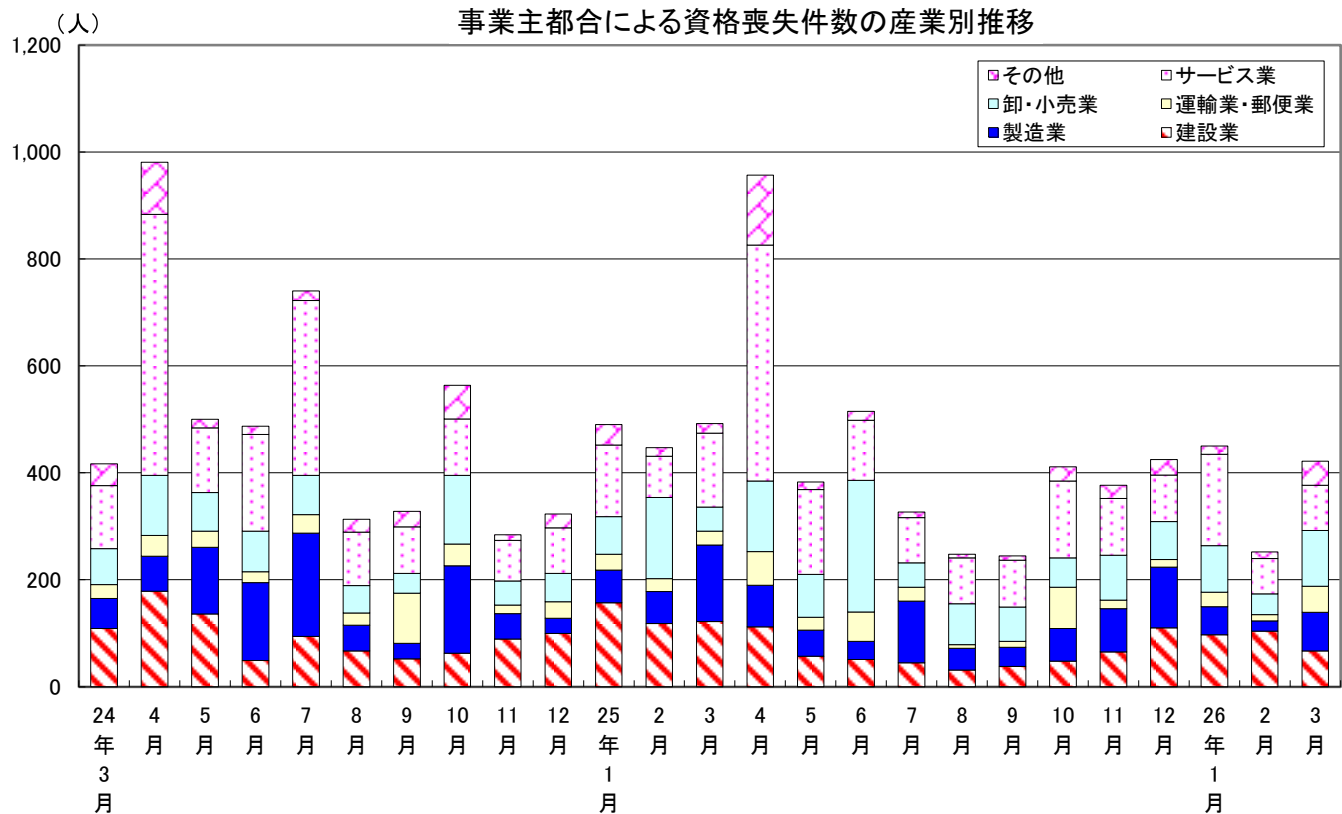
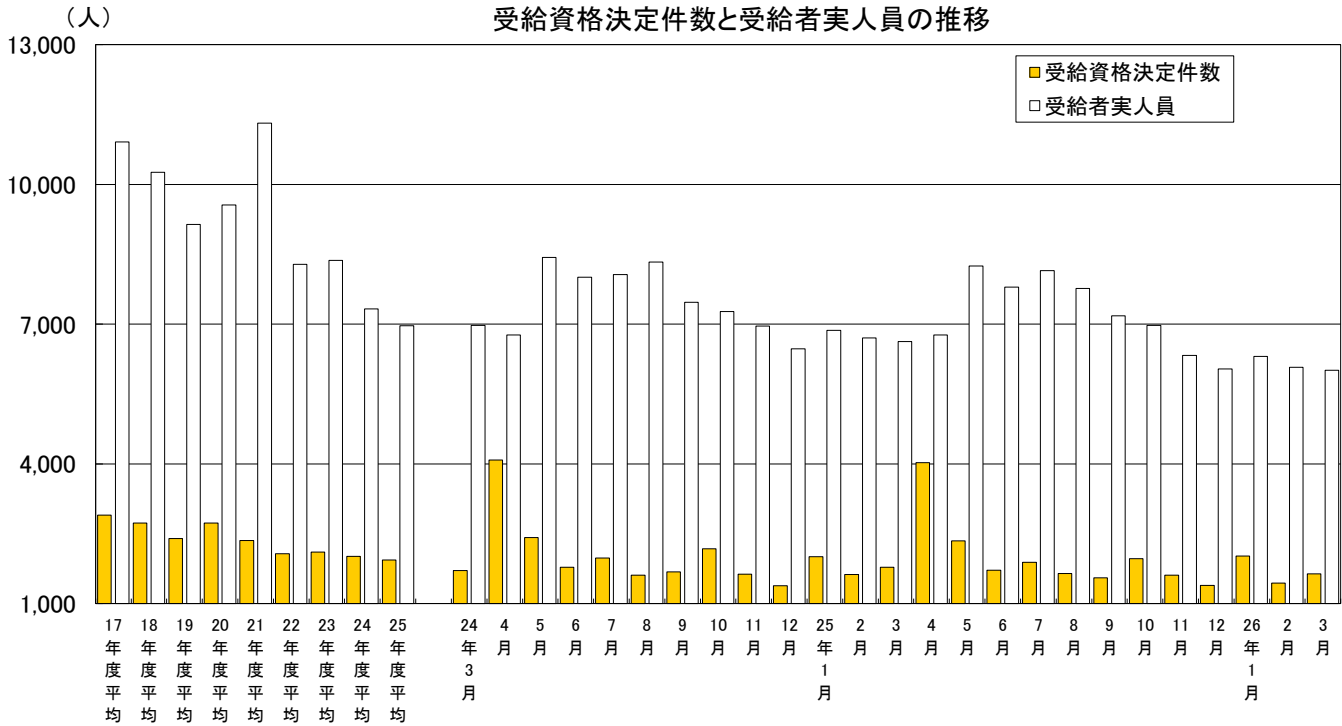
3月の局計の有効求人倍率(原数値)は0.83倍となり、前年同月を0.15ポイント上回った。
 各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。



V 雇用保険の状況

3月の受給者実人員（基本手当基本分）は、前年同月比9.3%（618人）減少、前月比では1.1%（68人）減少の6,008人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比8.1%（144件）減少、前月比では13.8%（199件）増加の1,639件となった。

資格喪失者（高年齢、短期特例被保険者を除く）のうち事業主都合による者は、前年同月比14.2%（70人）減少、前月比67.5%（170人）増加の422人となっている。



平成21年4月分より、平成19年11月改定の新産業分類で集計。
『サービス業』には、「学術研究、専門・技術サービス業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「生活関連サービス業、娯楽業」、「教育、学習支援業」、「医療・福祉」、「複合サービス事業」サービス業を含む。